

エンジン及び冷却水が完全に冷えた状態で作業してください。



ご使用前準備

シリンダーを分割して内部の保護カバーと弁を取り外してからご使用ください。ご使用はシリンダー内部を綺麗に清掃して保護カバーを付けて保管するようにしてください。

1. テストする車輛のラジエターの内の冷却水を約 1/10 ほど抜いてください。
(ラジエータータンク上部に空気が溜まるようにしてください)
2. テスト液を本体上部のキャップを開きテスト液を黒色の点線まで注いでください。
(点線以上注がないでください)
本体を図2のようにラジエターにセットして、三角ゴムとラジエター口に隙間が無いことを確認してください。
3. エンジンを始動し、サーモスタットが開くまで冷却水を循環させてください。ポンプでラジエター内部に溜まった気体を吸い上げて反応を確認してください。

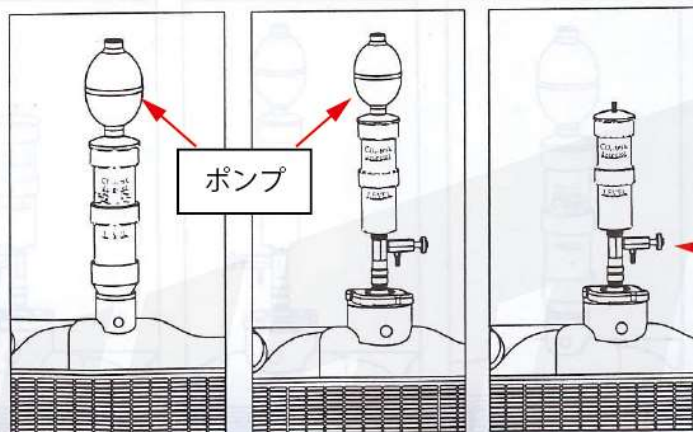
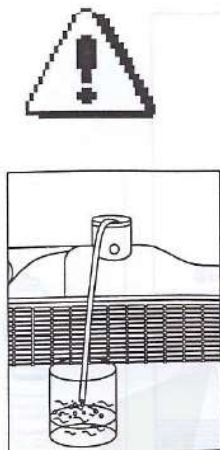
- * 本体とラジエターの隙間が開かないように注意してください。
- * ラジエター及びエンジンが熱くなっているので十分注意してください。
- * サーモスタットが開いて冷却水が循環しないと反応が出ません。
- * 微量の漏れの時には、ラジエター内に二酸化炭素が溜まりにくいので反応が出るまで時間が掛かります。

4. 三角ゴムでラジエターにセットできない時又は、正確に測定したい時は、三角ゴムを取り外し、図3のように付属のキャップアダプターの3タイプ(国産車用)を使用してください。又、外車関係は JTC4842 のラジエターキャップテスターと組み合わせでより正確に検査することができます。

5. 図4のようにポンプを使用しないで検査する時は、水蒸気が自動的にテストーに上がってくるので、冷却水がテストー本体の LEVEL の赤い線を越えた時は、バルブを開いて冷却水を排出してください。

* バルブ及び冷却水が熱くなっておりますので注意してください。

テスト液が二酸化炭素に反応すると紺色から黄色に変化します。
 車輛のガス漏れ具合により色の変化具合が異なります。



バルブを開いて冷却水を排出する時は、高温になっている可能性がありますので十分注意してください。

冷却水を約 1/10 程
 抜き取ってテスト
 してください

【図2】
 テスト方法 1

【図3】
 テスト方法 2

【図4】
 テスト方法 2

JTC1236 ヘッドガスケットリークテスター
 テスト液の色変化の参考例

※実際に作業に使用する場合は車輛により漏れている量が違うため、色の変わり具合が変化します。



漏れがある場合ガスに反応して黄色に変色します。